

2022年 アジア大会 エアロビクス選手権 ルール

学生

演技部門			
	小学生低学年	小学生高学年	中学生・高校生
年齢	小学1年～3年	小学4年～6年	中学1～3年・高校1～3年
演技時間	1分10秒～1分20秒		1分15秒～1分25秒
演技フロアー(シングル)	7m×7m		
演技フロアー(ペア・グループ)	10m×10m		
エレメントの数(シングル)	最大6個	最大8個	最大10個
エレメントの数(グループ)	最大6個	最大8個	最大9個
フロアーエレメント(シングル・グループ)	最大4個	最大5個	
許可される難度エレメント	0.5まで		
エレメントプール	最低3つのグループから1個ずつ実施		
スプリット及びブッシュアップでの着地	最大1個	最大2個	最大3個
リフト(グループ)	0～1回		

サーキット部門

【小学生低学年～中学生・高校生(ハンディキャップあり)】

※アジア大会のサーキットのルーティンは全国大会と同じルーティンとなります。

※ 部門の年齢は、年長者に合わせてください。
※ ペア・グループのメンバー変更は可能

マスターズ

演技部門			
	男・女シングル	シニアシングル	ペア・グループ
年齢	17歳～44歳	45歳以上	17歳以上(17歳未満の者との混合あり)
演技時間	1分15秒～1分25秒		
演技フロアー	7m×7mを基本とする (10m×10mまでは可能)		10m×10m
エレメントの数	最大8個	最大4個	最大8個
許可される難度エレメント	0.5まで		
エレメントプール	最低3つのグループから1個ずつ実施		
リフト(グループ)			0～1回

サーキット部門

【17歳～年齢区分なし(ハンディキャップあり)】

※アジア大会のサーキットのルーティンは全国大会と同じルーティンとなります。

※ ペア・グループのメンバー変更は可能

注意点(演技部門)

- ・減点
 - ・最低3つのグループからエレメントを1個ずつ実施が無い(1.0の減点)
 - ・タイムオーバー 規定時間枠内に演技がなされなかった場合(0.2の減点)
 - ・ラインオーバー 1回につき0.2の減点(男・女シングル/シニアシングルに関しては10m×10mを超えた場合減点)
- ・ハンディキャップ方式

マスターズ ペア・グループに限りハンディキャップ方式を適用(エレメントに対する)

 - 全員男性で構成の場合→エレメント合計点÷2
 - 全員女性で構成の場合→エレメント合計点÷1.5
 - 男女混合で構成の場合→エレメント合計点÷1
- ・ライン

男・女シングル/シニアシングル部門に関しては7m×7mを基本とするため、10m×10mで演技したとしても加点にはならない。(審査で運動強度・インテンシティーに差はつけない)
- ・動作

当連盟では、前転とび(ハンドスプリング)、後転とび(バク転)、宙返りというような危険性の高いと思われる動作は禁止動作としておりますが、アジア大会に限り実施しても構いません。但し、加点対象にはなりません。(減点にもなりません。)
- ・0.6以上のエレメント

そのまま演技してもよいがカウントされません。